

平成 28 年度第 2 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 28 年 8 月 5 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分 評議会室

出席者：大田理事長、堺井副理事長、廣川理事、倉茂理事、小出委員、須江委員、村山委員、渡辺委員

欠席者：濱崎理事、上原委員、高橋委員

事務局：木村事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉村経営企画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ統括、中川副参事、植田主幹、青笹主任主事

議事に先立ち、大田理事長より、村山委員に対して、委嘱状が交付された。

【議 題】

(1) 経営協議会からの理事長候補者の推薦について

吉村経営企画グループ統括から資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

(2) 平成 29 年度予算編成方針について

三和田財務グループ統括から資料に基づき説明があった。委員からは、URA を導入する等の工夫により自己財源を確保していく必要がある、県からの運営費交付金を減らされないよう努力する必要がある等の意見があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

【報告事項】

(1) 日本電気硝子との包括協定の締結について

廣川研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。

(2) 未利用地の利活用としての保育園誘致について

三和田財務グループ統括から資料に基づき報告があった。

(3) 未来人財基金の寄付金の募集について

三和田財務グループ統括から資料に基づき報告があった。

(4) オープンキャンパス 2016 の結果概要について

倉茂教育・学生支援担当理事から資料に基づき報告があった。

(5) 知事との意見交換会について

大田理事長から、7 月 26 日に行われた知事との意見交換会について報告があった。詳細については次回経営協議会において報告することとなった。

(6) COC+事業の現況について

報告に先立ち、堺井副理事長から、COC+推進室員の紹介があった。

田端COC+推進室長および西岡コーディネーターから、資料に基づきCOC+事業の現況について報告があった。

【意見交換】

「COC+事業が若者の地域定着を効果的に促進するために県立大学はどのようなことをすべきか」をテーマとして意見交換を行った。

(主な意見)

- ・ 県内就職者数を増やすには、県内の産業を興し就職先を作る必要があるのではないか。
- ・ 就職直前ではなく、もっと早期に学生が地元企業と触れ合う機会を作ってはどうか。
- ・ 県内就職者向けの奨学金制度などを検討してはどうか。
- ・ 学生は、先輩である卒業生が就職後どのようなキャリアパスを歩んでいるかに興味があると思われるため、卒業生と交流する機会を作ってはどうか。
- ・ 単純に県内就職率が向上したかどうかという量的な視点だけでなく、教育の質の向上の観点から、良い就職ができたかどうかという質的な視点も必要ではないか。
- ・ 県や県の関係経済団体は、県内就職率の向上を真剣に取り組んでいないように思われる。目標をもっと高く設定し県や関係経済団体とともに積極的に取り組んでいく必要があるのではないか。
- ・ 学生本人が強い好奇心を持っていなければ、周りがどのような仕掛けを作っても思うような効果が出ないのではないか。

【資料配布】

- (1) 夏季節電対策に伴う電気使用量について

【その他】

次回経営協議会は9月下旬に開催することとなった。